

2027年3月期 第1四半期決算 説明資料

2026年8月12日
日本貨物鉄道株式会社

1. 2027年3月期 決算

2. 2027年3月期 業績見通し

1. 2027年3月期 第1四半期決算

連結経営成績

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2026年3月期 第1四半期実績	2027年3月期 第1四半期実績	対前年同期	
			増減	%
営業収益	503	497	-6	-1.3
営業費用	489	502	+12	+2.6
営業利益	14	-5	-19	-
経常利益	11	-6	-18	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6	-7	-14	-

単体経営成績

営業収益	403	394	-8	-2.2
営業費用	396	406	+9	+2.4
営業利益	6	-11	-18	-
経常利益	4	-14	-18	-
四半期純利益	1	-11	-13	-

- 連結営業収益は、運輸収入は増加したものの、当年度はマンション販売などがなかったため不動産販売収入が前年度を下回り減収。
- 連結営業費用は、車両修繕費や線路使用料などの増加により前年度を上回った。
- 連結営業利益は、マンション販売などの利益減により前年度を下回り赤字に転換。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年度を下回り赤字に転換。

1. 2027年3月期 第1四半期決算

セグメント別状況

(単位：億円、単位未満切捨て)

		2026年3月期 第1四半期実績	2027年3月期 第1四半期実績	対前年同期	
				増減	%
鉄道ロジスティクス事業	営業収益	447	452	+5	+1.2
	営業利益	-21	-28	-7	-
不動産事業	営業収益	58	46	-12	-20.7
	営業利益	34	22	-12	-35.9
その他	営業収益	11	11	-0	-1.7
	営業利益	0	0	+0	+28.5

(単体) 事業別状況

鉄 道 事 業	営業収益	353	357	+3	+0.9
	営業費用	381	390	+8	+2.3
	営業利益	-27	-33	-5	-
関 連 事 業	営業収益	49	37	-11	-24.1
	営業費用	15	15	+0	+3.3
	営業利益	34	21	-12	-36.4

- 鉄道ロジスティクス事業は、運輸収入や新規に取得した倉庫貸付収入の増加などがあったものの、車両修繕費や線路使用料などの費用の増加により、増収減益。
- 不動産事業は、当年度はマンション販売などがなかったため、減収減益。

1. 2027年3月期 第1四半期決算

連結財政状態

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 第1四半期実績	対前期末 増減	備考
資 産	4,668	4,726	+58	流動資産 950億円 (対前期末 +84億円) 固定資産 3,775億円 (対前期末 -26億円)
負 債	3,589	3,655	+66	
純 資 産	1,078	1,070	-8	
自己資本比率	21.7%	21.3%	—	

単体財政状態

資 産	4,277	4,333	+55	流動資産 746億円 (対前期末 +86億円) ・ 現金及び預金の増 +101億円 固定資産 3,586億円 (対前期末 -30億円) ・ 減価償却の進捗による減
負 債	3,609	3,675	+66	当期末長期債務2,491億円 (対前期末 +128億円) ・ 社債 660億円 (対前期末 +120億円) ・ 有利子借入 814億円 (対前期末 -5億円) ・ 無利子借入 1,016億円 (対前期末 +13億円)
純 資 産	668	657	-10	

- 2026年6月にグリーンボンドを含む社債を発行し120億円調達。

1. 2027年3月期 第1四半期決算

連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2026年3月期 第1四半期累計	2027年3月期 第1四半期累計	対前年同期	
			増減	%
営業活動によるキャッシュ・フロー	70	27	-43	-61.6
投資活動によるキャッシュ・フロー	-120	-54	+66	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	169	127	-42	-24.7
現金及び現金同等物の増減額	120	100	-19	-16.1
現金及び現金同等物の期末残高	528	530	+2	+0.4

単体キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー	67	39	-27	-41.4
投資活動によるキャッシュ・フロー	-114	-55	+59	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	173	117	-55	-32.3
現金及び現金同等物の増減額	125	101	-24	-19.4
現金及び現金同等物の期末残高	409	417	+7	+1.7

- 連結の営業活動によるキャッシュ・フローは、純利益の減少などにより、流入額が減少。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、機関車新製などの固定資産の取得による支出が減少し、流出額が減少。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる流入額が前年同期に比べて減少。
- 現金及び現金同等物は期首から100億円増加し、期末残高は530億円。

1. 2027年3月期 第1四半期決算 品目別輸送実績表

(単位：千トン、単位未満切捨て)

	2026年3月期 第1四半期累計	2027年3月期 第1四半期累計	対前年同期	
			増減	%
輸 送 量	6,423	6,094	-328	-5.1
コンテナ	4,750	4,383	-367	-7.7
農産品・青果物	319	252	-66	-20.9
化学工業品	387	387	-0	-0.2
化学薬品	268	265	-2	-1.1
食料工業品	776	734	-41	-5.4
紙・パルプ	503	477	-25	-5.0
他工業品	301	298	-3	-1.0
積合せ貨物	816	810	-5	-0.7
自動車部品	190	204	+14	+7.5
家電・情報機器	90	86	-3	-4.3
エコ関連物資	250	99	-151	-60.3
その他	847	766	-80	-9.5
車 扱	1,672	1,711	+38	+2.3
石油	1,214	1,202	-12	-1.0
セメント・石灰石	236	281	+45	+19.4
車両	164	165	+0	+0.3
その他	56	61	+4	+8.5

- コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の減少により前年を下回ったほか、農産品・青果物は、前年に政府備蓄米の出荷があった影響により減送となった。また、食料工業品は、清涼飲料水等が振るわず、コンテナ全体で前年を下回った。車扱は、石灰石が、旺盛な出荷となったほか、セメントが、顧客の生産計画変更に伴う出荷量増加により、車扱は前年を上回った。コンテナ・車扱の合計では前年を下回った。

1. 2027年3月期 決算

2. 2027年3月期 業績見通し

2. 2027年3月期 業績見通し

連 結

(単位：億円、単位未満切捨て)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 見通し	対前年同期		2027年3月期 前回見通し (2026.5.15)
			増減	%	
営 業 収 益	2,076	2,190	+114	+5.5	2,190
営 業 利 益	32	64	+32	+97.8	64
経 常 利 益	24	50	+26	+107.7	50
親会社株主に帰属する 当期純利益	12	20	+8	+63.1	20

単 体

営 業 収 益	1,675	1,780	+105	+6.3	1,780
営 業 利 益	10	46	+36	+320.0	46
経 常 利 益	0	30	+30	—	30
当 期 純 利 益	-2	9	+11	—	9

- 「中期経営計画2026」の最終年度として、鉄道事業の基盤である安全と企業運営の基盤であるガバナンスを強化し、お客様から信頼される貨物鉄道輸送を確立するとともに、グループ一丸となった鉄道×物流の総合力による輸送量の拡大および総合物流事業のさらなる成長を通じて、社会課題の解決に貢献する「なくてはならない存在」を目指す。
- 物価上昇が続くなか、グループ社員の力を結集して安全管理を徹底するとともに、災害対応力を強化し、大型コンテナや定温コンテナ、中距離帯の拡大などの営業施策を通じて、お客様のニーズに応えていく。
- 通期業績予想は2026年5月15日の前回予想から変更なし。

【当社グループの事業系統図】

お客様

鉄道を基軸とした総合物流サービス

(貨物鉄道輸送)

(保管、荷捌、流通加工、配送)

不動産の賃貸・分譲、ビル・物流施設の管理、
農産物の生産・販売 他

鉄道ロジスティクス事業

【総合物流】

- JR貨物ロジ・ソリューションズ(株)

(利用運送)

- 日本フレートライナー(株)
- 全国通運(株)

(倉庫・物資別)

- 名光急送(株)
- 東京輸送(株)
- 日本オイルターミナル(株)
- 関西化成品輸送(株)
- セメントターミナル(株)

不動産事業

- 【関連・その他】
- (株)ジェイアル貨物・不動産開発

建設・
コンサルティング
ビル管理

その他

- 【関連・その他】
- 山村JR貨物きら
べジステーション(株)

業務提携・
鉄道輸送利用

日本貨物鉄道株式会社

連絡運輸

【臨海鉄道】

- 八戸臨海鉄道(株)
- 仙台臨海鉄道(株)
- 福島臨海鉄道(株)
- 鹿島臨海鉄道(株)
- 京葉臨海鉄道(株)
- 神奈川臨海鉄道(株)
- 名古屋臨海鉄道(株)
- 衣浦臨海鉄道(株)
- 水島臨海鉄道(株)

駅構内業務・荷役業務・
検修附帯作業

【業務受託】

- (株)ジェイアル貨物・北海道物流
- (株)ジェイアル貨物・東北ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・北関東ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・南関東ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・新潟ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・信州ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・東海ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・北陸ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・西日本ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・中国ロジスティクス
- (株)ジェイアル貨物・九州ロジスティクス

駅施設管理

【関連・その他】

- 北九州貨物鉄道施設保有(株)

リース
資材調達

【関連・その他】

- ジェイアルI7商事(株)

●印：連結子会社、□：持分法適用会社

リース、グループファイナンス、資材調達